



国際ロータリー第2610地区
南砺ロータリークラブ

クラブ会報 なんと



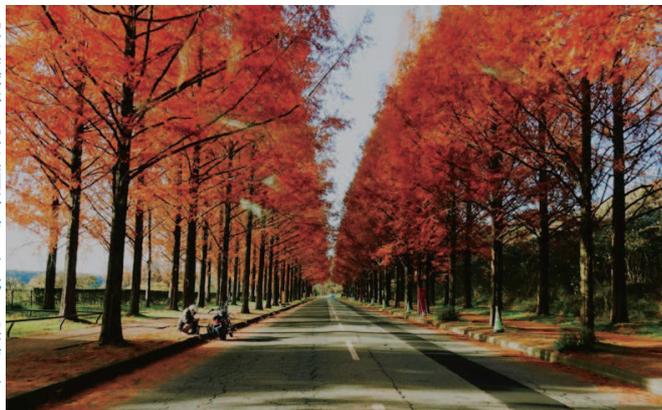
NO. 2621

URL <http://www.nanto-rc.jp>

E-mail office@nanto-rc.jp

例会日/火曜日 12:30点鐘 例会場/福光会館2Fサークルルーム1 ◆事務局/富山県南砺市福光7336-4 ☎0763-53-1333 FAX 53-1334

写真撮影 写真同好会 高野 実会員



メタセコイヤ通り

第2682回例会 令和5年12月12日(火) 小雨13℃

- ◆点 鐘 12:30 木村伊徳会長
- ◆司 会 野村 守SAA
- ◆ソング 「奉仕の理想」
- ◆ゲスト ニーシエンチェ君 (富大医博)



◆会長の時間 木村伊徳

今のこの時期は皆さんも大変忙しい日々を過ごすときで、一年の最後の締めですね。

私は先月の初めからはほぼ年末まで干柿づくりで時間に追われながらの日々を送っています。渋柿の三社柿をとって皮むきから乾燥の繰り返しを続けて干柿になるのですが、とにかく時間に追われ続けています。練炭は火力が強いのでどれだけの時間をかければ良いのかは時と場合によって違います。時間が短ければ柿は乾かず、長ければカチンコに乾き過ぎます。干柿の色も台車ごとに違うのはザラです。一方がうまくいっても片方では黒くなってしまい、商品にならない事は当たり前のようにありますので、夜中でも練炭の入換えが必要です。体が資本ですが、寝不足になりがちになります。吉田さんと榎さんも苦勞しておられるでしょう。

◆幹事報告 尾山裕和幹事

- ①シンガポール国際大会登録状況と広報のお願い。
- ②服部陽子推進コーディネーターの掲載原稿がコーディネーターニュース 12月号に掲載されました。RIのブログに掲載されることになりましたのでURLを案内させていただきます。 <https://bit.ly/4alfA6p>
- ③例会変更 氷見中央 RC。

●米山記念功労賞は6人

岡部一輝君、北島芳信君、岩木貴之君、武田慎一君、山田孝君、吉田実君。



本日のプログラム 12月19日(火) 第2683回例会
《例会変更》クリスマス家族会：TONAMI 翔凜館
18:30 担当 谷村賢治親睦活動委員長

◆出席報告 吉田 実委員長

会員数	12月12日出席率	11月28日(修正)
43 (免除1)	79.07% (出席34)	81.40% (出席35 内メーク2)

メーキャップ：岩木貴之君、船藤幸生君。

◆ゲスト 米山記念奨学生 ニーシエンチェさん《近況報告》

先日、米山2610地区年末懇親会があったが、発熱し欠席した。後日、友人から楽しそうな会の写真を見せられ大変残念に思った。寒暖差の激しい日が続くので皆さんも気を付けてお過ごしください。

◆年次総会・11月14日の例会で発表の通り、次々年度会長に石崎和三君の推薦を、この総会で承認を図ります。

●次々年度の会長予定者を推薦…川合選考委員長

2025-26年度の会長予定者に石崎和三会員を推薦し、皆さんの承認を求めます。拍手多数(石崎和三君受諾)

●次年度の理事を発表…久恵龍三会長エレクトより

会長…久恵龍三、副会長…山田孝、会長エレクト…石崎和三、幹事…森悦夫、会場監督…谷村賢治、会計…片山道代、直前会長…木村伊徳、国際奉仕…榎祐人、職業奉仕…吉田実、社会奉仕…山田清志、青少年奉仕…森雄一、パスト会長…古瀬喜八郎、岩木貴之の皆さん。



1. カウントする
2. 手の向きを変えながらカウントする。
3. 手の向きを左右交互にカウントする。



次々年度会長
石崎和三君
エレクト



久恵龍三会長

♥ニコニコボックス 12/12 安居利浩委員長

木村君 忙しい月の半ばになり、皆さんは大変でしょう。榎さんの卓話が楽しみです。

古瀬君 12月14日会社設立登記して30年、皆様のお陰です。ニー君、ようこそ。

岩木君 米山記念奨学生第2回米山功労者マルチプルいただきました。ありがとうございました。

尾山君 師走、年度の締め、来年度の計画立て、忙しい。

松本君 榎会員の卓話、楽しみです。

吉田実君 ニーさん、ようこそ。榎さん卓話宜しくお願い致します。

本田君 いつもありがとうございます。なかなか出席できずにいません。榎様卓話よろしくお願い致します。

榎君 大谷翔平がドジャーズに移籍する事が決まり、7億ドルとはすごい。1/100でももらえたら良いなあ。本日、卓話担当します。宜しくお願いします。

武田君 榎先輩、卓話有難うございます。古瀬社長、京都での活躍有難うございました。松本会長、船藤社長、福野高校130周年有難うございます。吉田実社長、よろしくお願ひします。

谷村修君 会社の若い人2名にフォークリフト技能講習を受けて貰いました。出来る事が増え修了証を手に入れた、嬉しそうでした。

石崎雄君 井波に13日オープンする温浴施設37BASE(サンナナベース)さんに行ってきました。庄川温泉のお湯にサウナ、岩盤浴なども楽しめ、食事もリーズナブルでおいしかったです。

石崎和君 寒くなつてまいりました。畑仕事も、芝払い(ゴルフ)も終了しましたが、これから何をしたらいいのかわかりません。楽しい事ありましたらお声かけ下さい。

古軸君 安居委員長、ご苦勞様です。思わず目が合ってしまったので、投函させて頂きました。

谷村賢君 昨日、市川團十郎の歌舞伎を観てきました。迫力がすごく楽しめました。クリスマス例会宜しくお願い致します。

吉田美君 南砺北國銀行旅行で、イケメン第一ツアーズ吉田さん、息子さん案内で、伏見稲荷・京都迎賓館・夜は菊乃井さんで食事、次の日は市川團十郎歌舞伎を一等席で途中睡眠をしながら見ました。福光へ帰り約2人ロータリーメンバーが歌舞伎に感化され、ずーっと余韻を楽しんでました。

安居君 私も皆様まて頂き、京都へ行ってきました。やはり十三日目市川團十郎さんの襲名披露の舞台は素晴らしかったです。花道の真横の一等席でした。海老蔵さんはズバ抜けてカッコ良かったです。ちょっと私に似ている気もしました。(笑)八代目新之助君もかわいかったです。10才なのに早口言葉の長いセリフをスラスラ演じていました。歌舞伎にはまりそうです。(イヨッ!! 成田屋)

山田清君 すみません。早退いたします。



こんにちは。本日の卓話を担当します榎です。ちょうど1年ほど前の11月29日に卓話を行いました。今日は母が亡くなって丸2ヶ月の月命日です。それらを踏まえた、よもやま話をお聞きいただければと思います。

前回は、母の介護の苦労話をお話しました。令和4年2月から要介護の状態になり、今年10月12日に享年90歳で亡くなりました。その節は、皆さま方に色々とお気遣いを頂きありがとうございます。改めて感謝申し上げます。

母は要介護状態ではありましたが、食事は普通通りの物を自分で摂り、週3回のデイサービスに通っておりました。4月8日の朝、息がぜえぜえしていて明らかに様子が変わりました。罹りつけの金子先生に電話で連絡したところ、直ぐに病院へ行った方が良いとのことで、南砺中央病院に連れて行きました。

血中酸素飽和濃度が50%を切るくらいで、かなり危険な状態でした。誤嚥性肺炎と言うことで万が一のことも覚悟していただきとの事でした。口からの食事が出来ないということで、中心静脈栄養のカテーテルを入れ、2ヶ月余りの入院生活の後、何とか退院することが出来ました。しかし、この時に第1弾のハードルがありました。

少しでも命を長らえる為には、胃ろうか中心静脈栄養をしないと持って3ヶ月との宣告でした。母も、以前から積極的な医療行為は望まないと言っておりましたし、それによりデイサービスやショートステイにも行けなくなるのは介護する側の人間として負担が増すことになるので、何とか自宅で看取りたいとの思いで見合わせしましたが、大変辛い選択でした。

ひょっとしたら、胃ろうを選択していればまだ生きていたかもしれませんが、風呂にも入れず家で寝たきりの状態が果たして良かったのか、今でも悩ましいところでもあります。

退院後、南砺中央病院の訪問診療と訪問看護ステーションの方々にお世話になりながら、以前の介護に加え食事の介護が始まりました。トロミ食と言ってゼリー状の食事を、むせない様と与えなくてはいけないし、水分も1日500ml以上摂るよう指導されましたが、本人が嫌がって思った以上に大変なことでした。

やすらぎ荘からトロミ食の弁当の配達をお願いし、この弁当を3回に分けて食べていましたが、明らかに栄養不足であります。水分も1日500mlなんてとんでもありません。300ml摂れれば多い方で、100mlなんて日がざらでありました。

8月になって、週2回の点滴をしても尿としての排泄が少なく、栄養不足もあって体中がむくみ始め、床ズレの症状が少しずつ悪化していきました。

9月中旬には、腕や足のむくんだところから体液が漏れるようになり、手足に紙オムツを巻くようになりました。この頃から、デイサービスにも通えない状態になり、最後は、尿のオムツ交換よりも手足のオムツ交換の方が多状態となり、手足の先端部が壊死し始めておりました。10月に入り、食事量も水分の摂取量も徐々に少なくなり、10月9日の午後から飲まず食わずの状態になりました。急遽、訪問看護ステーションに連絡して来てもらいましたが、入院しても症状の改善は難しいだろうし、無理に食事や水分

を与えても本人は苦しいだけだろうから無理しない方が良いでしょうとの事でした。

そして、12日の朝いつも通りに起しに行くと、目を開けることもなく息をしていない状態でありました。このような顛末でありましたが、実は、ここからが大変でありました。

第2のハードルと言いますか、今思えば重大な選択ミスでした。6時40分頃だったと思いますが、目を開けないので頬をポンポンと叩いても反応がなく、明らかに息をしていませんでしたが、身体はまだ温かかったので、救急車を呼んだ方が良いだろうと言うことになり、119番通報をしました。

電話の向こうの指示で、心臓マッサージをしながら住所を伝え、救急車の到着を待ちました。到着後、心臓マッサージを交代し心電図モニターを着け、身体の膠着状態を確認し搬送しても蘇生は難しいとの判断でありました。

病院へ搬送されれば、死亡診断書を書いてもらって一件落着かと思っていたのですが、救急隊員から警察に引き継がれ、家族は事情聴取され、母は警察署に運んで検視官の検視を受けることになりました。結局、死亡検案書とともに母が自宅に戻ったのは午後2時頃でした。ここでのベストの選択は、訪問看護ステーションに連絡して来て貰うか、罹りつけの先生に来て貰って死亡診断書を書いて貰うでした。

訪問看護師さんもケアマネージャーさんも、こんなに早いと思ってなかったみたいで、後から聞かされた訳ですが、今となっては後悔と言うより貴重な経験であり教訓でもあります。

これでハードルは無いかと思ったら、もう一つありました。

父親も母親もマイナンバーカードを作っておらずで、これがハードルになるとは思ってもおませんでした。死亡後の手続きに、戸籍のことは勿論ですが年金や遺産など色々な手続きがあります。

中には、マイナンバーの証明が必要なものもあり、カードを持っていない場合は厄介な場合があります。一番簡単な証明方法は、マイナンバーが記載された住民票を入手することですが、父親がやすらぎ荘で寝たきりの状態なのに、委任状を書いてもらって来る必要があります。やすらぎ荘はコロナの影響で面会が出来ないし寝たきりで読める字は書けないと言っても、役所は聞く耳を持っておりません。

終活とは言いませんが、今後のことを考えてマイナンバーカードを取得することをお勧めいたします。

- ・死亡診断書と死亡検案書
- ・忌中と喪中
- ・仏壇のしつらえ
- ・神棚と神社参詣
- ・仏事の作法
- ・位牌と遺影

以上のことなどにもいろいろ困りごと、知っていればと思うことがあります。今すぐではなくても心して学んでいきたいものです。



(今回の会報担当：山田清志)

次回の予定 1月9日(火) 第2684回例会

《例会変更》 新年懇親会 旅亭「みや川」

18:00

担当 谷村賢治親睦活動委員長